

あいっこ「親の学び」 学習プログラム

<平成27年度 追加版>

- 6 児童期（小学校低学年・中学年）の子どもの保護者を対象

こんな時 どうする？

テーマ： 家族・自立（子どもの心理、性格形成、自立心）



小学校入学後の家庭生活におけるエピソードをもとに、
子どもが自信を持ったり自己肯定感が高まったりするた
めの、親の働きかけについて考えてみませんか？

III

III-6

こんな時 どうする？

<エピソード 1>

小学校1年生のみつ男くんは、毎朝、学校へ行くための支度に時間がかかりすぎ、通学団の集合時間に遅れがちです。

お母さんは、みつ男くんに「いつまでぐずぐずしているの。もう幼稚園じゃないんだよ・・・。」「早くしなさい・・・。」「また遅刻したいの。みんなに迷惑だよ。」と、毎日のように声をかけていますが、みつ男くんの様子は全く変わりません。



Work

お母さんがみつ男くんに声かけをしている時、お母さんはどんな表情をしているのでしょうか。また、どんな気持ちでしょうか。

Work

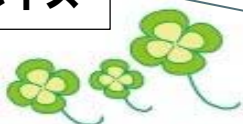
お母さんの言葉を聞いても、みつ男くんの様子が変わらないのはどうしてでしょうか。

Work

みつ男くんの様子を改善するために、あなたなら、どのように接しますか。

アドバイス

みつ男くんに、一つ一つ手順を具体的に示し、できたことからほめましょう・・・



<エピソード 2>

小学校4年生のあき男さんと小学校2年生のみゆきさんは、お母さんと晩ご飯を食べています。

みゆき：「お母さん、私また100点とったんだよ。これで連続5回だよ。」

お母さん：「すごいねえ。やっぱりみゆきは、勉強がよくできるね。次もがんばってね。」

みゆき：「うん、それから体育で走るのも一番速かったよ。」

お母さん：「へえ、みゆきは何でもできるのね。やっぱり、私に似たのねえ。」

二人の会話を聞きながら、あき男さんは、うつむいてご飯を食べています。

その様子に気づいたお母さんは、あき男さんに声をかけました。

お母さん：「
」

すると、あき男さんは笑顔になり、会話に加わることができました。



Work

うつむいてご飯を食べているあき男さんは、
どんなことを思ったのでしょうか。

Work

お母さんは、あき男さんにどのような言葉をかけたのでしょうか。
笑顔になったあき男さんの気持ちを想像しましょう。



資料

<自己肯定感を育むには・・・>

人は愛され理解されたいものです。“理解されない不満”がたまるとキレることがあります。突然子どもがキレたとき、本人も親も理由がよく分からず、怒ったり苦しんだりしますが、理由はあるのです。

「日ごろから子どもの話をじっくり聞き、同じ目の高さで考える」、「深い関心を払う」といった姿勢を親が示すことで、子どもは親に愛されている実感を得ることができます。

子どもは愛されていると感じるとき、安定した気持ちで問題に立ち向かうことができます。そして、不必要に攻撃的にならず、他者や問題を受け入れることができ、大きく成長できます。

<「文部科学省 家庭教育手帳」を参考に作成>

アドバイス

子どもにとって、
人と比べられるのはいやなもの・・・



Ⅲ 小学校低学年・中学年の子どもを持つ保護者を対象

Ⅲ－６ こんなとき どうする？

<プログラムのねらい>

- ・子どもが自分からやる気になる言葉がけを考える。
- ・子どもが自信を持って行動できるようになるには、どんな働きかけが必要かを考える。

時間	進め方	準備
10分	<p>アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間で交流する遊びを行ない、参加者のリラックスした雰囲気づくりをする。 ・他者の意見を否定しない、秘密は守るなど、グループのルールの確認と本日の活動の目的を明確にする。 	<p>H22 年度版学習プログラムの 2 目次 P2「アイスブレイキング各種」参照</p>
30分	<p>Work</p> <p>エピソード1を読んで、「みつ男くんの気持ち」や「みつ男くんをやる気にさせる言葉がけ」について、各自で考えた後に、グループで情報交換をする。</p> <p>【ポイント】</p> <p>子どもの性格や特性に目を向け、それを持ち味として肯定していることが伝わるような言葉がけを具体的に考えられるようにしたい。その際、忙しい親の気持ちに寄り添い共感する場面も大切にしたい。</p> <p>エピソード2を読んで、「兄の気持ち」「お母さんの言葉がけから、子どもの自己肯定感を育てるためにできること」をグループで話し合う。</p> <p>【ポイント】</p> <p>「自己肯定感が育つ」ための具体的なアドバイスを紹介したい。</p>	<p>エピソード メモ用紙配布</p> <p>ホワイトボード や大きな紙に、発表された意見を並べ、様々な考え方を共有する。</p>
20分	<p>グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで出たアイデアについて全体で発表・紹介し、話し合う。 ・全体を通して、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。 	<p>振り返りシート</p>